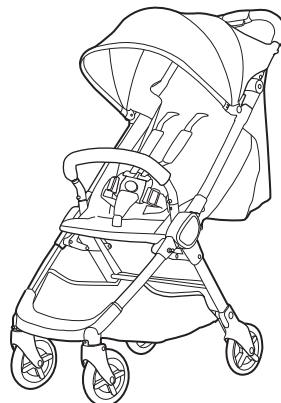


このたびは、リッчエル製品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用の前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
また、本書はいつでも見られる場所に大切に保管してください。
本書に使用しているイラストは、操作方法や仕組みなどをわかりやすくするため
現物とは多少異なることがあります。本書を他のお客様にお譲りになるときは、
必ず本書も併せてお渡しください。

ご使用の前に

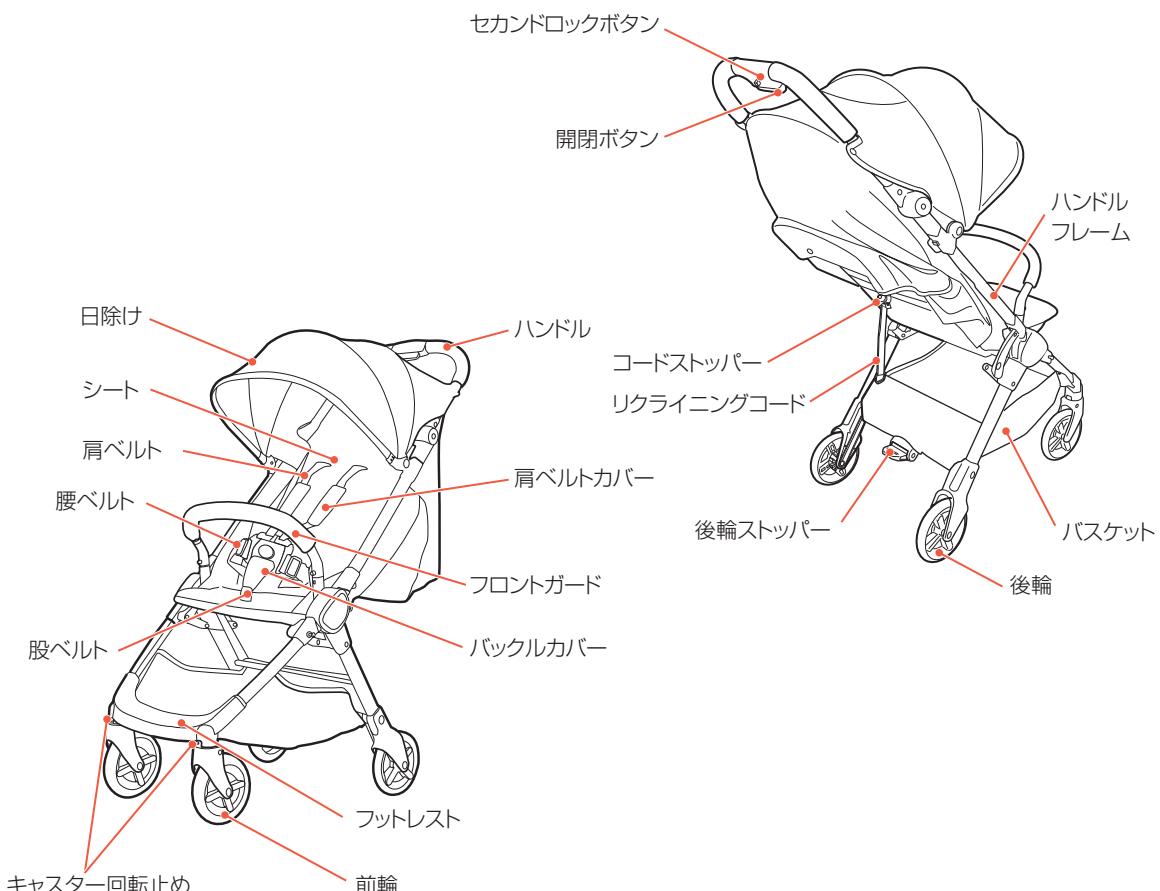
- 対象月齢…生後1ヶ月～36ヶ月まで(体重目安15kgまで)
- 望ましい連続使用時間…寝かせた姿勢で2時間以内
座らせた姿勢で1時間以内
- バスケット耐荷重…3kgまで



標準耐用期間について

本書の標準耐用期間は、お買い求めになった日より3年間です。標準耐用期間を経過した場合、本来の性能を発揮できない可能性があります。

各部の名称



安全上の注意

○記号の説明

この取扱説明書は、製品を安全に使用していただくために特に守っていただきたいことについて、次のマークで表示しています。各マークの意味を十分理解されたうえで使用していただきますようお願いいたします。

⚠ 警告

…取扱いを誤った場合、死亡または重大な傷害を負ったり、物的損害につながるおそれのあるもの。

⚠ 注意

…取扱いを誤った場合、軽度の傷害を負ったり、物的損害につながるおそれのあるもの。

重 要

…取扱いを誤った場合、製品の故障・損傷・早期寿命などを招くおそれのあるもの。



…してはならない禁止事項。

⚠ 警告

必ずお読みください。

取扱いを誤ると重大な事故につながりますので必ずお守りください。

- 本品の分解・組立て・改造はしないでください。



- 必ずシートベルト(肩ベルト・腰ベルト・股ベルト)を締めて使用してください。
- 乳幼児がベビーカーの中で立ち上がらないように肩ベルトと腰ベルトの長さを調節して使用してください。
- 月齢が高くなると自分でシートベルトを外すことがあります。常に子様の状態を確認してください。
- 肩ベルトが長すぎると、首に巻き付くことがありますので注意してください。
- 乳幼児をベビーカーの中で立たせないでください。
- シートベルトを締めていても立ち上がる場合がありますので注意してください。



- 乳幼児を乗せた状態で、バスケット以外に荷物を載せたり、吊るしたりしないでください。

左右や後方に転倒したり、車体のフレームが破損したりするおそれがあります。

- 乳幼児を乗せたまま、ベビーカーを持ち上げないでください。バランスを崩したり、足下が見えなくて転倒したりするおそれがあります。
- 乳幼児を二人以上同時に乗せないでください。
- 乳幼児をシート以外のところに乗せないでください。
- 乳幼児や子供にベビーカーを絶対に操作させないでください。
- ベビーカー使用時はフレームのロックが確実にロックされていることを確認してください。
- 乳幼児を乗せる用途以外では、使用しないでください。
- ベビーカーの開閉時には、乳幼児や子供を周りに近づけないでください。
- 日除けをたたむときは、乳幼児の指などをはさまないように注意してください。

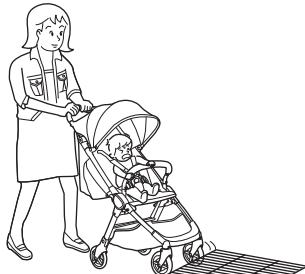


- ベビーカー使用時は保護者や介添者が必ずそばにいてください。ベビーカーが勝手に走り出したり、転倒したりするおそれがあります。
- 後輪ストッパーは確実にかけてください。
- 乳幼児を乗せたときには、後輪ストッパーを過信しないでください。(構造上、自動車のブレーキのような安全なものではありません。)

安全上の注意

⚠ 警告

必ずお読みください。
取扱いを誤ると重大な事故につながりますので必ずお守りください。



- 階段・エスカレーターや段差のあるところでは使用しないでください。転倒や破損によりケガをするおそれがあります。仕方なく段差を乗り越える場合は、必ず速度を落としてから以下の手順で車輪を浮かせてください。また、転倒しないように乳幼児の状態を確認しながら行ってください。

ハンドルフレームの根元を片手でつかみ、もう一方の手でハンドルを押し下げて乗り越えてください。



- ぬかるみや砂地などの悪路では使用しないでください。転倒や車輪が異常音を発したり、動きが悪くなったりするおそれがあります。

- 排水溝の格子状のフタ(グレーチング)や踏切など、幅の広い溝があるところで使用する際は、溝に車輪がはあるおそれがあります。十分注意して慎重に溝を越えてください。
- 保護者や介添者が、ベビーカーに腰掛けたり寄りかかったり、また、過度の荷重をかけないでください。ベビーカーが破損や移動しケガの原因となります。
- 前輪を持ち上げた状態で走行しないでください。フレームの曲がりや折れの原因となり大変危険です。
- 過度の荷重や衝撃が加わった場合、また、破損・異常を発見した場合は使用しないでください。
- フロントガードを引っ張って使用したり、振りまわしたりしないでください。破損のおそれがあります。
- フロントガードに過度の荷重をかけないでください。また必要以上に広げたりしないでください。
- フロントガードは乳幼児の立ち上がりや抜け出しを防ぐものではありません。必ずシートベルトを締めて使用してください。
- 雷のときには使用しないでください。落雷のおそれがあります。
- ベビーカーは空車であっても坂の途中や車道に近い歩道上など危険な場所に放置しないでください。
- 火気や熱源の近くに放置したり、炎天下の車内やトランクに放置したりしないでください。ベビーカーが高温となり、ヤケドしたり、変形・変質したりしてケガをするおそれがあります。

⚠ 注意

- 本品は電車やバスの中で使用することを目的として設計されたものではありません。お客様の責任により、本品を電車やバスの中で使用するときは、カーブや急ブレーキなどで転倒するおそれがありますので、後輪ストッパーを確実にかけ、十分注意して使用してください。
- 電車やバスの利用時には、無理な乗降はしないでください。電車やバスの自動ドアは場所により、本品がはさまっても感知しないおそれがあります。また、ホームと電車の段差、すき間には十分注意してください。
- ベビーカーの開閉操作をするときは、**指などをはさまないよう**に注意してください。
- 乳幼児を乗せるときや降ろすときは、必ずストッパーをかけた状態で行ってください。

重要

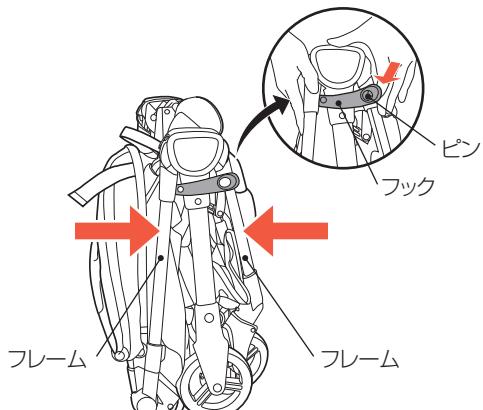
- 直射日光を避け、湿気が少なく雨やホコリのかからないところで保管してください。

点検のお願い

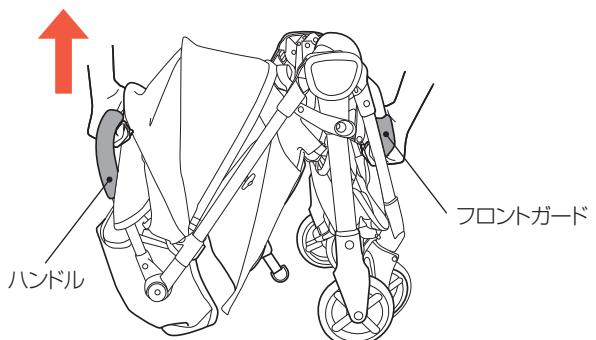
- ご使用の前に以下のことを確認してください。
 - ・後輪ストッパーで車輪の回転がロックできること
 - ・全体にかたつきや部品の外れがないこと
 - ・ネジの緩みや部品の消耗、素材の破れや縫い目のほころびがないこと
- ネジの緩みは、ドライバーでしっかりと締めなおしてください。
- 異常がなおらないときは、リップルお客様相談室(12ページを参照してください)にご連絡ください。

ベビーカーの開き方

① フレームを少し内側に押さえ込みながら、側面にあるフックをピンから外します。

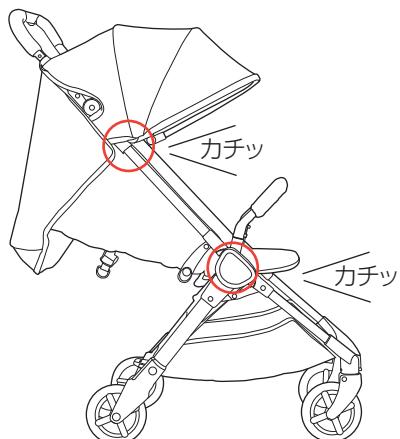


② ベビーカーが倒れないようにフロントガードを持ちながら、ハンドルを上へ引き上げます。



③ カチッと音が鳴り(2カ所)、ベビーカーがしっかりと開いていることを確認し、使用してください。
(カチッと音が鳴るとフレームがロックされます)

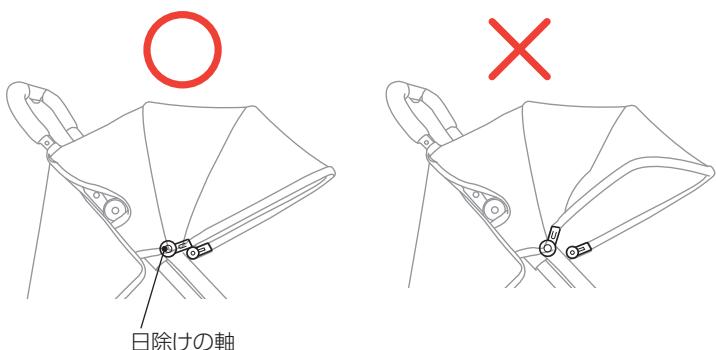
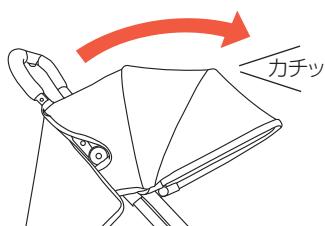
▲ 注意



- ベビーカーを開くときは指はさみなどに十分注意してください。
- 乳幼児を乗せる前にベビーカーが完全に開き、フレームが確実にロックされていることを確認してください。

日除けの使い方

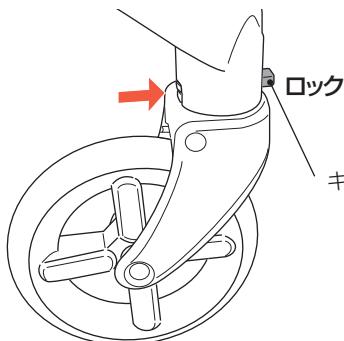
日除けを前側に引き出すと開きます。
「カチッ」と音が鳴るところで固定するので、
使用したい位置で固定してください。
その際、日除けの軸が左右とも同じ角度で
固定されていることを確認してください。



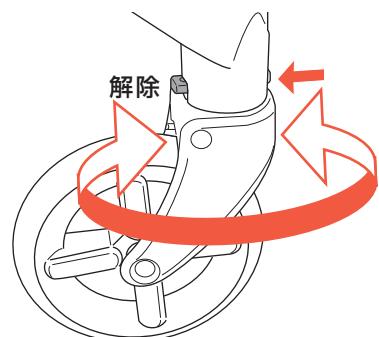
キャスター回転止めの使い方

キャスター回転止めは、車道側に少し傾斜した歩道や砂利道など、ハンドルがとられやすい道での使用に適しています。必要に応じて使用してください。

●ロック(前輪が回転しません)



●解除(前輪が回転します)

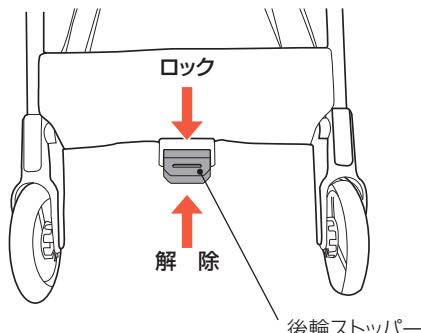


▲注意

強い衝撃が加わると、キャスター回転止めが解除されてしまう場合がありますので注意してください。

後輪ストッパーの使い方

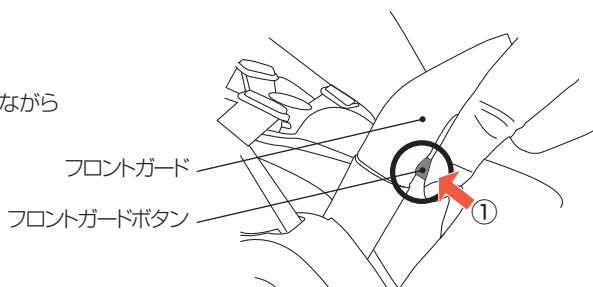
背面下側の後輪ストッパーを下げてロックします。
解除するときは、後輪ストッパーを上げます。



フロントガードの使い方

●フロントガードを開くとき

- ①左右両側のフロントガードボタンを矢印方向に押しながら
- ②フロントガードを上に引き抜きます。

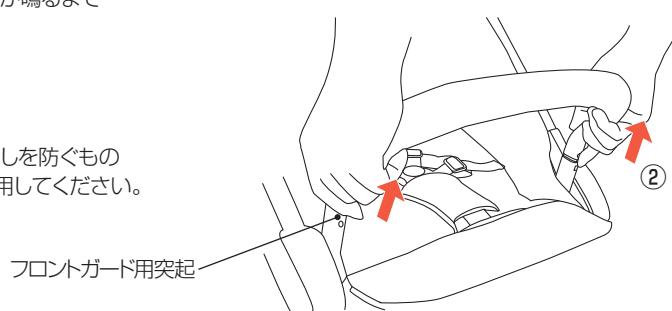


●フロントガードを閉じるとき

フロントガード用突起にあわせて力チッと音が鳴るまで
押し込みます。

▲警告

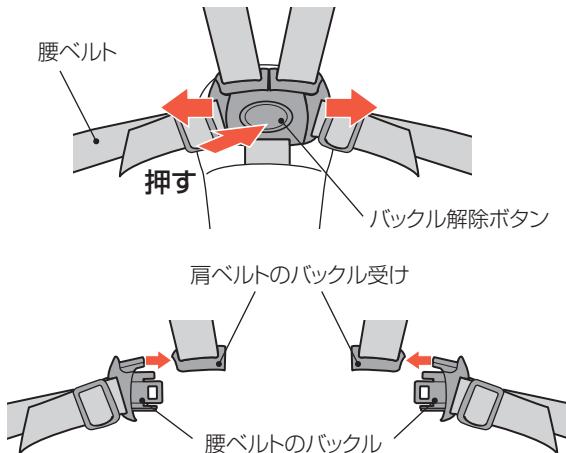
フロントガードは乳幼児の立ち上がりや抜け出しを防ぐもの
ではありません。必ずシートベルトを締めて使用してください。



シートベルトの使い方

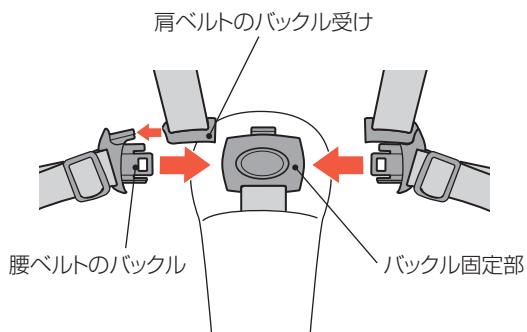
●シートベルトを外すとき

バックル解除ボタンを押し、腰ベルトのバックルを左右に引き抜きます。肩ベルトのバックル受けを腰ベルトのバックルから取り外します。



●シートベルトを締めるとき

肩ベルトのバックル受けを腰ベルトのバックルに差し込み、腰ベルトのバックルを股ベルトのバックル固定部に、差し込みます。また、左右に引っ張り、抜けないことを確認してください。



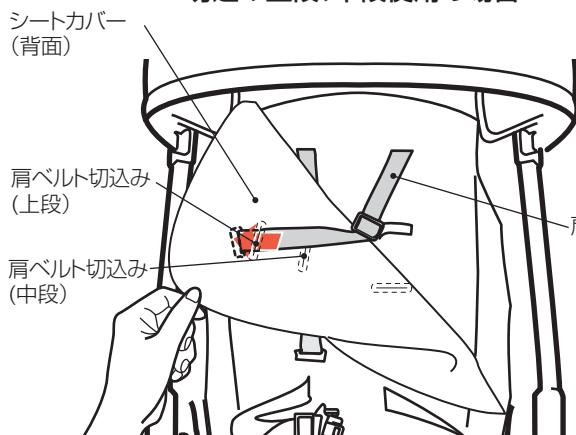
⚠ 警告

- 必ずシートベルト(肩ベルト・腰ベルト・股ベルト)を締めて使用してください。
- 乳幼児がベビーカーの中で立ち上がらないように、シートベルトを適切な長さに調節して使用してください。
- 月齢が高くなると自分でシートベルトを外すことがあります。常にお子様の状態を確認してください。

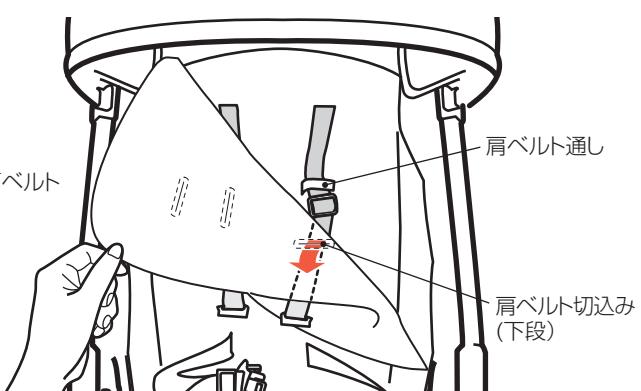
<肩ベルトの高さ調節の仕方>

- ①シートベルトを外し、肩ベルトカバーを取り外します。
- ②側面からシートカバーをめくり肩ベルトを
高い位置のときは、シートカバー上段、中段の切込みに通し、
低い位置のときは、肩ベルト通しに通し、シートカバーワー下段の切込みに通します。
- ※肩ベルトがねじれないようにしてください。
※肩ベルトは上段、中段、下段それぞれ同じ高さで使用してください。
- ③肩ベルトカバーを取り付けます。

<切込み上段、中段使用の場合>



<切込み下段使用の場合>



<シートベルトの長さ調節の仕方>

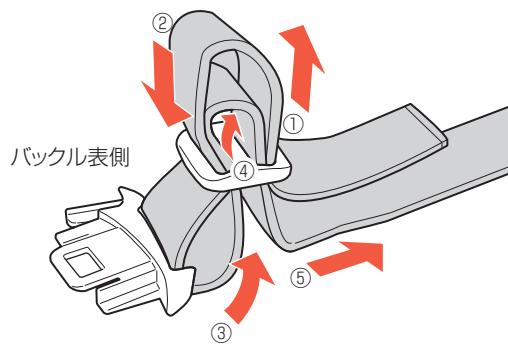
●腰ベルト

腰ベルトの長さを調節するには、

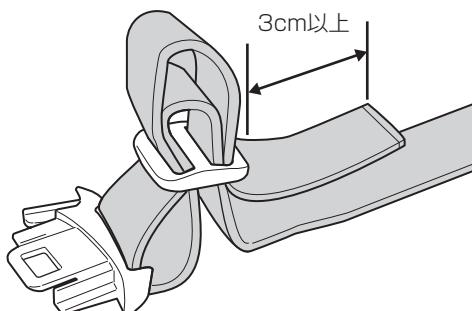
①の方向に調節したい分の長さを引き出します。

長くするときは②～⑤の方向へ引きます。

短くするときは、長くするときと逆の方向へ引きます。



ベルトの端が3cm以上残るようにしてください。



⚠ 警告

●長さ調節後、ベルトを強く引っ張り、確実に取り付けられていることを確認してから使用してください。

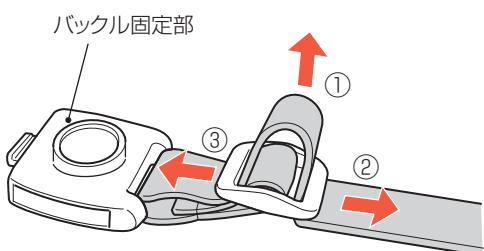
●股ベルト

股ベルトの長さを調節するには、

①の方向に調節したい分の長さを引き出します。

長くするときは②の方向に引きます。

短くするときは③の方向に引きます。



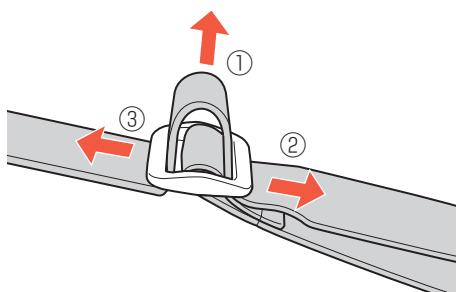
●肩ベルト

肩ベルトの長さを調節するには、

①の方向へ調節したい分のベルトを引き出します。

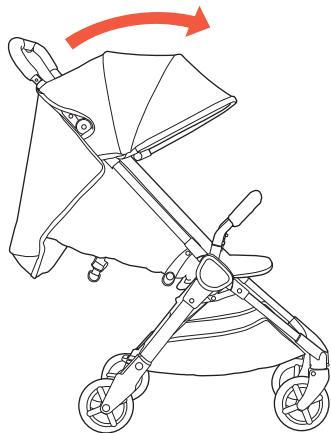
長くするときは②の方向に引きます。

短くするときは③の方向に引きます。

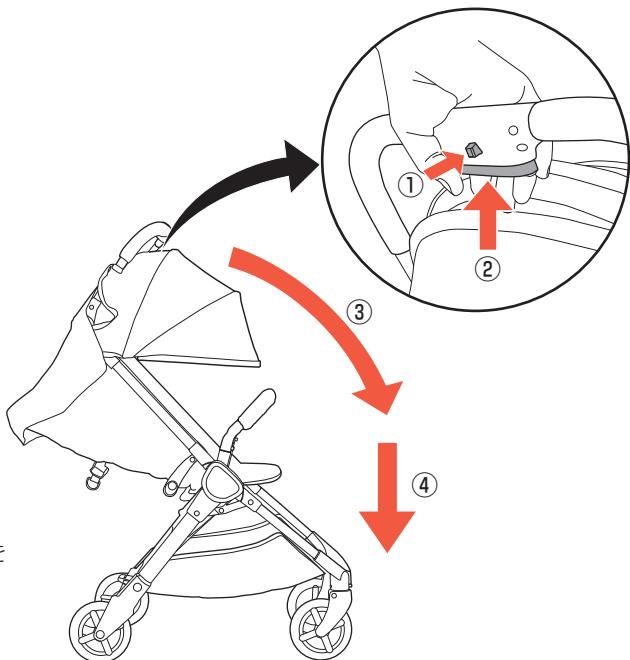


ベビーカーの折りたたみ方

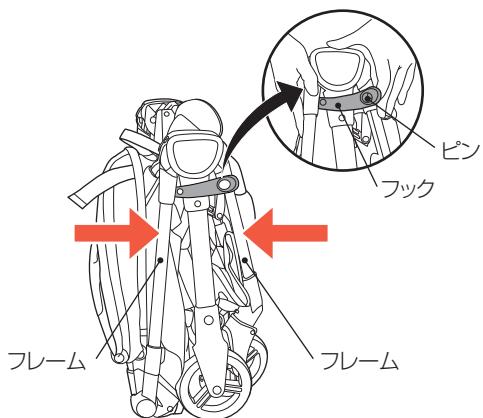
① 日除けを前側へ開かなくなるまで開きます。



② ①セカンドロックボタンを押しながら
②開閉ボタンを握り
③ハンドルを前側へ倒し、(背もたれが後ろ側へ倒れます)
④ハンドルを下側へ行かなくなるまで押し込みます。

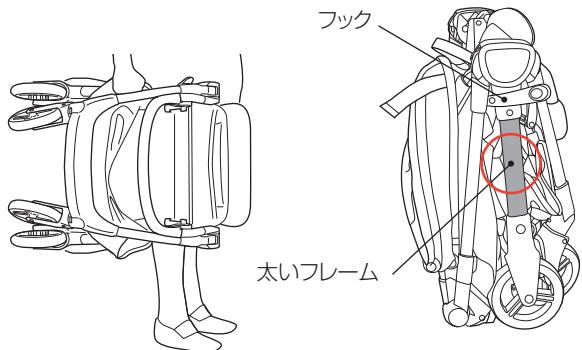


③ 側面にあるフックがピンにしっかりと掛かっていることを確認してください。
フックが掛かりづらい場合は、フレームを少し内側に押さえ込みながら行うと掛かりやすいです。



▲注意

折りたたんで持ち運ぶ際は、フック側の太いフレームを持ってください。ハンドルやフロントガードを持って移動すると破損するおそれがあります。



▲注意

- ベビーカーを折りたたむときは指はさみなどに十分注意してください。
- ベビーカーが完全に閉じ、ピンが確実にフックに掛かっていることを確認してください。

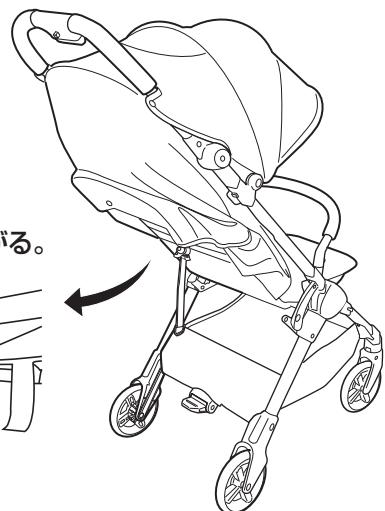
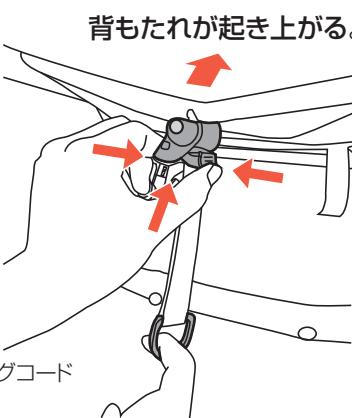
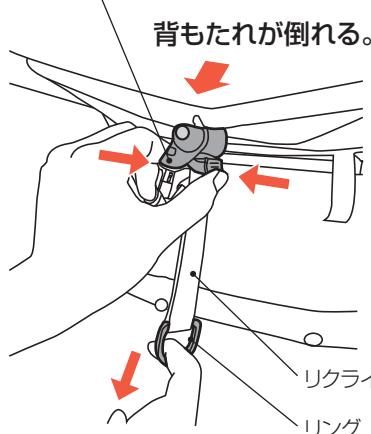
重要

- ベビーカーを折りたたむときはバスケットから荷物を取り出してください。
ベビーカーの破損や荷物のつぶれの原因となります。
- 楽に折りたためないとや引っかかり・はさみこみなどがあるときは、いったん開き、原因を確認してください。無理に折りたたむと破損するおそれがあります。

リクライニングの使い方

- シート背面のコードストッパーをつまみながら、リクライニングコードのリングを手前に引くと、シートの背もたれが倒れます。
コードストッパーを上へ引き上げると、シートの背もたれが起き上がります。

コードストッパー



⚠ 警告

- リクライニング操作時は乳幼児や子供を周りに近づけないでください。
- 乳幼児を乗せたままリクライニング操作するときは背もたれ角度が急激に変わらないようにゆっくりと行ってください。

お手入れ方法

●車体のお手入れ

- ・リベットの割れ、ネジの緩みがないか時々点検してください。ネジの緩みは、ドライバーでしっかりと締め込んでください。リベットの割れがある場合は、使用を中止してください。

<車輪>

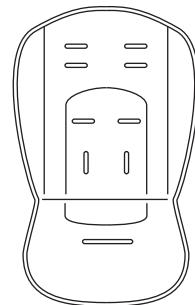
- ・車輪についた砂や泥などは、そのまま放置せず、必ず落としてください。汚れがひどい場合は、汚れを落としてから水分を十分ふき取ってください。

<フレーム>

- ・水で薄めた中性洗剤をつけたタオルを固くしぶってふき取ってください。ふき取った後は、風通しのよい場所で陰干ししてください。変色や変形、サビ、劣化の原因となります。
- ・タワシやみがき粉などは使用しないでください。変色やキズ、サビ、劣化の原因となります。
- ・クレゾールやその他の消毒液は必ず指定濃度に薄めてから使用してください。変色や塗装のハクリの原因となります。
- ・シンナーやベンジン、アルコールなどの薬品は使用しないでください。変色や塗装のハクリの原因となります。

●シートカバーの洗い方

- ・洗い方については、絵表示にしたがってください。
- ・洗濯の際は、シートカバーのみ外し40℃以下のぬるま湯で弱い手洗いをしてください。
- ・漂白剤は使用しないでください。
- ・絞らないでください。
- ・形を整えて、日陰のつり干ししてください。



●バスケットのお手入れ

- ・バスケットは洗えません。
- ・汚れた部分に洗剤を使用したときは、水を含ませた布やスポンジで洗剤が残らないように数回ふき取ってください。また、漂白剤は使用しないでください。
- ・乾かすときは、乾いた布で水分をふき取り、風通しのよいところで陰干ししてください。

▲注意

- 破損・異常など修理が必要なところを発見、または発生した場合、そのまま使用せず、速やかにリップセルお客様相談室（12ページを参照してください）へご連絡ください。

廃棄方法と再利用

- お住まいの各自治体の指示にしたがい、処分・廃棄してください。
- 地球環境保護のため、指示された場所以外には放置しないでください。
- 使用履歴が不明な製品の再利用はお控えください。

保証書

保証基準

①このベビーカーの品質保証期間は、お買い求めになった日より12カ月間です。

②保証期間内には、パーツの欠品、不良加工などメーカーの責任によるものは無償で修理いたしますが、お客様の責任によるものは実費修理とさせていただきます。

③保証期間でも次の場合は有料とさせていただきます。

- ・フレームおよびプラスチック部品の自然劣化。
- ・シートや日除けのキズや破れ。
- ・まちがった使い方や改造、不適切な修理、手入れ不良による故障や損傷。
- ・タイヤ、車輪の自然消耗。
- ・天災地変、事故による故障や損傷。
- ・保証書のご提示がない場合。
- ・実費修理の際に要する運賃などの諸経費。

④原則として、一度ご使用になった製品は、お取り替えすることはできません。故障箇所の修理・交換で対応いたします。

⑤保証書は日本国内においてのみ有効です。海外からの修理サービスは受付けできません。

⑥ご贈答、ご移転で保証書に記入してある販売店に修理を依頼できない場合はお客様相談室にご相談ください。

⑦本品の修理箇所以外の品質の保証はいたしかねます。

⑧製造中止後の製品については、必要部品の在庫がなくなった場合、修理できないこともあります。

⑨この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理・交換をお約束するものです。

したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、この保証期間後の修理などについてご不明な場合は、お客様相談室にお問い合わせください。

商品名	スプレ		ロット番号 (後輪フレーム内側のシールをご覧ください。)	
お買い上げ 年月日	年	月	日	保証期間 お買い上げ日より12カ月間 (ただし、保証基準による)
お客様 お名前	ご住所(〒	-)	故障内容記入欄
	販 売 店	住 所(〒	-	
		店 名		
		電話番号	-	

- お買い上げ後、お買い上げ日・お客様名・販売店名・ロット番号をただちに記入願います。
- 万一故障が発生した場合は、この保証書をご提示ください。
- ご提供いただいた個人情報は、保証書に基づくアフターサービスのために使用し、その他の目的に使用することは一切ございません。
- 本書は再発行しませんので、大切に保管してください。

販売店発行のレシート(領収書)を保管していただき、本書を提示していただく際に添付してください。

領収書(レシート)貼付け欄

品質向上のため、予告なしに一部仕様変更する場合がありますのでご了承ください。
この商品の品質で、お気づきの点がございましたらお手数ですが下記までご連絡ください。

株式会社 リッセル

富山市水橋桜木136 T939-0592
お客様相談室/TEL(076)478-2957
受付時間:9:00~17:00(土日、祝日を除く)
www.richell.co.jp

Designed by Richell Corp., Japan
MADE IN CHINA

